



社団法人 石川県作業療法士会

第87号 2013年7月22日 発行

ニュース

公益社団法人への移行に向けて

会長 進藤 浩美

今から20年以上前、ただの集まり団体(石川県作業療法士会)から、法人格をもった大人の団体(社団法人石川県作業療法士会)に移行するときに、研修会を何度も何度も開いて説明会を実施した。「法人格を持つということはどういうことなのか」「何故、今それが必要なのか」、リンカーンの言葉を借りて、「みんなのために、みんなによる、みんなの会」と言い続けた。会員は皆20代、30代と若かった。

そして今度は、公益法人制度改革により、今の社団法人ではいられない、公益社団法人か一般社団法人に移行しなければならない。検討を開始してからすでに5年以上経過してしまった。公益法人移行にあたっての総会は、スムーズに終えたが物足りなさを感じている。それは、かつて20年前のような「会員のために今、必要なのだ」という盛り上がりには欠けているのである。執行部として、もっともっと声を上げ、説明していくことが足りないことを痛感している。以上を踏まえ、今年度の予定を示す。来年春に、晴れて移行できたときには、皆で喜びをわかちあいたい。

時期	計画内容	実施状況
平成25年3月総会	現行の定款変更(事務所住所) 七尾市富岡町94番地 ⇒ 金沢市	承認済
	公益社団法人移行後の新定款案	承認済
平成25年5月総会	現行の役員選挙 会長・副会長・理事・監事	承認済
	公益社団法人移行後の役員 現行の役員が継続 監事は、中川等史氏、後出博敏氏	承認済
平成25年5月	石川県に現行の定款変更申請	済
平成25年6月	石川県より現行の定款変更の許認可	済
	石川県に現況報告届 25年度事業計画・予算計画 24年度事業報告・決算報告・監事報告 会員状況・役員変更届	済
	法務局に現行の法人の登記申請 定款変更・役員変更	申請済 登記未
平成25年7月～8月	移行認定申請書完成と申請 石川県と法務局への確認	準備中
申請後	会員への研修会	
	石川県にて審査・公益認定等委員会にて審議、認定	
認定後 目標 平成26年4月1日	公益社団法人石川県作業療法士会の移行登記 社団法人石川県作業療法士会の解散登記	

県学会PR

金沢大学附属病院 堀江 翔

第22回となった石川県作業療法学会が9月8日(日)、金沢大学附属病院にて開催される。学会長は金沢大学附属病院の麦井直樹氏である。学会テーマは「専門性の追求—魅力ある毎日を創る—」である。学会長も膠原病のリハビリに関して専門性を求めている一人であることもあり、様々な専門領域に関して熱くOTを展開している方々による特別講演、シンポジウムが予定されている。

特別講演の講師として、石川県でも働かれた経験のある西出義明氏（もり整形外科・リウマチ科クリニック）をお招きし、「ハンドセラピー分野での作業療法の可能性」というタイトルでご講演頂く。

シンポジウムでは、高次脳機能について中嶋理帆氏（金沢大学）、関節リウマチについて長田千里氏（上荒屋クリニック）、手外科・ハンドセラピーについて西村誠次氏（金沢大学）、認知症について明福真理子氏（介護老人保健施設 はなますの丘）の4名にて、各領域に関しての情熱、取り組みに関して発表して頂く。

また昼食の時間には、特別講演の講師である西出氏を含めた食談会も予定しており、学会会場で聞けないような話を昼食を交えながら行える機会を設ける予定である。

当日は120名以上の参加を予定しており、満身に値する内容を準備する所存である。会員の皆様の多数の参加を期待している。

第13回東海北陸作業療法学会のご案内

富山県高志リハビリテーション病院 砂原 伸行

富山県高志リハビリテーション病院の砂原伸行です。この度、富山県作業療法士会主催で、第13回東海北陸作業療法学会を主催させていただきます。期日は平成25年11月2日（土）、3日（日）、場所は富山国際会議場です。

今回の学会は、「連携を生み出す力～作業療法士が展開する多職種、多職域間の協働」と題したテーマを取り上げております。連携とは言い尽くされたテーマではありますが、私は現在進行中のチームでの連携のみならず、一対象者の社会復帰の一連の経過の中での連携、そして対象者がライフコースを辿っていく過程における連携など、広く捉えています。このような広い視野をもって対応出来る素因が、作業療法にはあると考えていますので、是非本学会に御参加頂き、また各セッションでの討論に積極的に参加して頂ければと思います。

シンポジウムは公開で、テーマを「高次脳機能障害～継続した支援構築に向けた作業療法士の役割」としました。回復期から地域分野、就労援助にいたる各領域の作業療法士からの提言、また当事者の会からの御発表も予定されています。

教育講演は「作業療法をひらく、作業療法がひらく」という題で、京都大学の山根寛先生の講演が企画されています。山根先生の題名は大変興味深い題名かと思えます。助詞の違いや、「ひらく」と仮名書きされている点に、深い意味を感じるのには私だけでしょうか。

注目すべき企画として、JICAボランティア経験者の活動報告、東日本大震災の被災者支援活動の報告ブースも設けられます。国際協力、震災支援に興味のある方は、この機会に情報を得て頂ければと思います。技術講座も大変興味深い内容となっていますので、学会ホームページで御確認下さい。

富山国際会議場は富山市中心部にあり、石川県からもアクセスしやすい位置にあります。是非本学会に御参加頂き、また演題発表もして頂ければ幸いです。富山県士会員一同お待ちしております。

新人研修会

城北病院 小池 隆行

2013年5月18日（土）、金沢スカイホテルにて新人研修会・表彰受賞者祝賀会を開催した。参加者数は新会員36名、表彰受賞者1名、一般会員80名の合計117名であった。

進藤会長の音頭で乾杯した後、しばし歓談、その後に病院・施設別の新人紹介を行った。これは昨年をはじめて実施したもので、好評であったため今年も実施した。19の病院・施設が順番に壇上に上がり、先輩からの紹介を受けた。昨年のイメージがあったためか、今年はあらかじめ準備をして紹介に臨んだ病院・施設もあったようで、順調に進行した。表彰受賞者からは東川哲朗氏から挨拶をいただいた。長年、作業療法にこだわり続け、今なお熱心に追求を続けている話を聞き、日頃の自分の実践を振り返させられた。9月開催予定の石川県作業療法学会の学会長である麦井直樹氏からは学会の案内があり、また4月に開設となった金城大学医療健康学部作業療法学科からも挨拶があり、新年度スタートを勢いづけるような活気ある会となった。先輩が参加しない施設の新人は、施設が所属する支部の支部長が新人を紹介することとしているが、そのような新人も今年は少なく、先輩による新人紹介という企画がすでに根付きつつあることを感じた。

今年は進行に余裕をもたせた結果、交流の時間も確保しながら充実した会になったと思う。来年も多くの参加で、一年のスタートにふさわしい盛大な会にしていきたい。



新入社員(40名)の皆様

栗津神経サナトリウム

大路 紘太郎

金沢医科大学病院

伊関 浩克

宇塚 芽生

川口 日和

竹内 美月

金沢脳神経外科病院

橋出佳津美

橋詰 祐季

安田 友紀

竹澤 藍子

四登 久嗣

金沢大学附属病院

小林亜里沙

浅ノ川総合病院

山下 笑加

村西 汐里

浅井成津美

金沢子ども医療福祉センター

寺崎 蘭

患寿総合病院

倉田 真希

井田 武

松原病院

片山 礼子

七尾松原病院

南 滉太

松寿園

川端 良明

なごみの里鹿島

田中 菜未

独立行政法人 国立病院機構 七尾病院

出村 完

金城大学 医療保健学部

河野 光伸

渡辺 豊明

酒野 直樹

桜ヶ丘病院

浜本ひかる

城北病院

平腰 由菜

酒井香緒莉

荒田 早紀

松村 知香

岩島 悠人

小松子ども医療福祉センター

若林 優衣

キッズルーム ラディツシユ

中川紗佑里

やわたメディカルセンター

塩栗こすも

中田 有紀

金沢有松病院

北橋 真穂

十全病院

田端 佑樹

金沢西病院

山本 洋輔

金沢医療センター

渡邊 景太

映寿会みらい病院

谷口 洋子

(順不同)

百万石踊り流しに参加して

金沢市保健局健康総務課 西川 了幸

6月1日(土)に百万石踊り流しに参加した。当日は、天候にも恵まれ、大勢の方に参加いただいたことに感謝したい。

踊り流しは毎年6月の第1土曜日の午後6時から午後8時、南町～片町間(国道157号線)で開催され、約11,000人で公道が埋め尽くされる。県士会はもう常連の参加チームになっている。踊りは、「ふれあい音頭 いいね金沢」「金沢ホーヤネ」「百万石音頭」の3つを華麗に舞った。

県士会ニュースで何度か当日の様子を紹介してきたので、今年は裏方の仕事について紹介したいと思う。

裏方の仕事は、まず参加者の募集から始まる。人数確定後に飲み物・食べ物の手配。当日は、新人研修会に併せて踊り流しの練習と早くから集合して荷物の積み込み、集合場所への荷物の移動や受付をする。この移動だが、行列を見ている人をかき分けかき分け台車をゴロゴロ押していくので結構大変な事となる。また、踊り中は、荷物の預かりも大事な仕事である。大変な仕事が多いが皆さんが楽しんで参加していただけたならば幸いである。



今後も踊り流しには続けて参加すると思うので、是非ふるって参加して頂きたい。

～最後に、私事ながら理事を降りる事となりました。今まで渉外部、踊り流し等の行事を支えて頂きました皆様方には大変お世話になり感謝申し上げます。ありがとうございました。～

生涯教育制度改定2013「認定作業療法士及び専門作業療法士関連」

教育部 寺田 佳世

■認定作業療法士制度の改定について

日本作業療法士協会(以下、協会)は、2004年に認定作業療法士制度を初の資格認定制度として創設し、1,400名の認定作業療法士が誕生した。2009年の第1回更新では失効者が出たものの、これまでに約210名が新規に認定作業療法士として認定され、2013年4月時点で認定作業療法士数は全国に673名の会員で1.5%となっている。石川県においては認定作業療法士が32名で、士会別の認定作業療法士取得率は5.4%で全国1位となっている。

今年度は認定作業療法士制度がスタートして2回目の更新年になる。多くの会員が認定作業療法士として質の向上をはかり良質な作業療法サービスを提供していくことは専門職として重要な責務であり、認定作業療法士の既取得会員は必ず更新に向けて自己研鑽をお願いしたい。

また、作業療法士という知的専門職集団が取り組む制度としてふさわしい形に整え、質の保証や認定方法の公正性等を考慮し、2013年の改定に伴い4月1日から資格認定審査が導入された。試験は、認定作業療法士取得研修の共通研修(教育法、研究法、管理運営)と選択研修(各領域)について、各研修会終了時に30分程度の筆記試験が実施されている(ただし、2012年度までに研修を受講済みの者は、改めて受験の必要はない)ので、県内における作業療法の質の向上をはかるため多くの会員が認定作業療法士を目指し生涯教育制度に取り組んで頂きたい。

■専門作業療法士制度の改定について

協会は認定作業療法士制度に加え2009年に専門作業療法士制度を創設した。2013年4月現在7つの専門分野(福祉用具、認知症、手外科、特別支援教育、高次脳機能障害、精神科急性期、摂食嚥下)が整備され全国に専門作業療法士は56名で0.1%となっている。2013年度より専門作業療法士の資格認定審査(試験)が導入され、専門作業療法士既取得者もすべて資格認定審査(試験)を実施して再認定することになった。

今年度の試験実施日は2014年2月11日が予定されている。但し、移行措置として、制度変更後3年以内(2015年度内)に資格認定審査(試験)を受験することが必要であり、詳細は協会から追って各自に連絡される予定である。

表彰委員会

国際医療福祉専門学校七尾校 藤井 信好

5月18日（土）金沢スカイホテル 18階 トップ・オブ・カナザワにて41回総会前に県知事表彰、永年会員表彰が執り行われた。今回県知事表彰者は、金沢脳神経外科病院の東川哲朗氏。永年会員表彰者はやすらぎホームの野村とも子氏、ケアバック石川の麦井美希氏、公立松任中央病院の西田幸子氏、南ヶ丘病院の酒井真希子氏、金沢南加賀センターの藤原由香里氏、向井章子氏、以上が今回出席された。都合で出席されなかった方、西尾由紀子氏、荒井則子氏、を含め計8名の方が受賞された。受賞者の先生方本当におめでとうございます。



知事表彰者については今回知事の代役として、健康福祉部次長 菊地修一様が出席し祝辞を述べていただいた。また知事表彰者の東川哲朗氏、永年会員表彰者の代表として、藤原由香里氏にそれぞれ謝辞をいただいた。

表彰式にはより多くの会員の皆様にも参加していただき、出席した表彰者7名で大変厳かな表彰式となった。例年若干不手際もあったため当日予行演習を行い、表彰式も滞りなく執り行われた。年々多くの会員が入会し県士会員も600名を超えるようになった。表彰委員会としても今後もより多くの永年会員表彰、知事表彰、そして今年は対象がなかったが優秀論文表彰が出て石川県作業療法士会もますます発展していくことを期待している。

金沢市健康づくりフェアに参加して

松原病院 松本 香奈

4月13日（土）、14日（日）の2日間にわたり、金沢市健康プラザにて第34回健康づくりフェアが開催された。石川県作業療法士会の金沢東支部も参加し、その中で私も認知症予防の啓発のお手伝いをさせていただいた。

当日は多くの団体が健康や福祉に関するコーナーの出展をしており、高齢者疑似体験やヨガなど実際に体験できるコーナーもあった。

作業療法士会のコーナーでは、「イキイキ健康チェック」と題し、片足立ちやTUGテストといった簡単な体力テストと、石川県作業療法士会が作成した「認知症予防のヒント」の冊子内の物忘れチェックを行い、結果から普段の生活の中でできる脳の活性化法や運動についてアドバイスをした。「最近忘れっぽくなった」という方や「家族の物忘れが心配で……」という方などがおとずれ、熱心に話を聞き助言を求める様子が見られた。2日間を通して、約120人の方が当コーナーをおとずれた。

さまざまな年代の方と接する中で、「作業療法士って聞いたことあるわ」「知ってるよ」と声をかけてくださる方もいらっしゃった。作業療法士の仕事に関心をもっている方も多くいらっしゃることに嬉しさを感じるとともに、今後もより作業療法について知っていただけるよう、また、少しでも一人ひとりのお役に立てるように頑張りたいと思った。



各支部支援活動状況

金沢東支部

金沢大学附属病院 堀江 翔

平成25年度の金沢東支部の第1回事例検討会は、9月7日土曜日に、翌日開催の第22回石川県作業療法学会の特別講演の講師である西出義明氏をお迎えし、学会での講演内容とは変わった切り口でお話し頂き、事例検討会においてもアドバイスを頂く予定である。また当日夜には西出氏を含めた懇親会も予定しているため、他支部の方も含めた多数の参加を期待している。

金沢西支部

公立つるぎ病院 渡邊 貴之

医療や介護分野において他職種連携や地域連携の重要性が高まる中、作業療法士の専門性が求められている。作業療法士個人の知識・技術の獲得と併せて、作業療法士が集結することで得られる事も多いかと思う。そこで金沢西支部では今年度も多くの方々が参加し、魅力ある支部活動を行なっていきたいと思う。多くの病院や施設の方が運営・参加して下さるように理事・支部長など新しいメンバーが加わった。今年度の事業計画では研修会と事例検討会を合わせた事業を年3回（9月・12月・2月）予定している。研修は昨年度に皆様から希望があった内容や好評だった内容の中から実践ですぐに役立てられる研修会を企画しているので積極的な参加をお願いしたい。支部活動に参加して頂き、日々の疑問を気軽に話し合える場にもなれば良いかと思う。

能登支部

恵寿総合病院 渡辺沙由里

既に協会ホームページ、案内文書でお知らせしているように7月20日(土) 14時～公立能登総合病院にて第1回能登支部研修会・事例検討会を予定している。今まで7月は金曜日の夜に事例検討会を開催することが多かったが、今回は県立中央病院の西川拓志先生が「A-ONEインフォメーション研修会」をして下さることもあり、土曜日の開催と決定した。そのため皆さんが集まりやすい時間帯になったかと思うので、今まで時間の都合上、参加が難しかった方、遠方の方も含め、皆さんの積極的な参加をお願いしたい。

加賀支部

能美市介護老人保健施設はまなすの丘 明福真理子

今年度も能美市民ボランティアフェスティバルに県士会として出展を予定している。8月4日（日）能美市根上総合文化会館にて、県士会で作成した冊子『認知症予防のヒント』を用いた啓発活動と調理用自助具を用いた作業療法体験の2本立てで計画。昨年同様に参加の呼びかけを行ない多数の参加をお願いしたい。また、例年通り11月と2月に症例検討会の開催も検討中である。詳細な日時や場所については現在調整中であるが、新人OTからベテランOTまで、ふるってご参加いただきたい。

9月22日（日）には『介護保険だけが使えるサービスじゃない！～障害者総合支援法をスムーズに利用するコツ～』と題した研修会を企画している。小松陽光苑を会場に、9時受付開始で半日の間に講義・施設見学・グループワークを詰め込んだ内容で、現在準備進行中である。加賀支部のみならず、広くご参加いただけるようお願いしたい。

2013 新役員一覧

役員名	氏名	担当部局
会長	進藤 浩美	訪問作業療法委員会・特設委員会・表彰選考委員会・能登支部
副会長	柴田 克之	事業部・表彰選考委員会
副会長 (新任)	寺田 佳世	教育部・生涯教育委員会・表彰選考委員会・金沢西支部
理事	東川 哲朗	事務部・情報通信委員会・表彰選考委員会・選挙管理委員会
理事	安本 大樹	小児医療部・財務部
理事	岡田 千砂	精神医療部・精神保健地域支援委員会・認知症予防推進委員会・金沢東支部
理事	小池 隆行	企画部
理事	安田 秀一	社会福祉部
理事	麦井 直樹	学術部・金沢東支部
理事	西谷すずな	介護保険部・認知症予防推進委員会
理事	大西真澄美	事業部・精神医療部・精神保健地域支援委員会・認知症予防推進委員会
理事	明福真理子	広報部・介護保険部・認知症予防推進委員会・加賀支部
理事	寺尾 朋美	健康福祉部
理事 (新任)	村田 明代	病院医療部・加賀支部
理事 (新任)	渡邊 貴之	病院医療部・金沢西支部
監事	藤井 信好	表彰選考委員会
監事 (新任)	中川 等史	表彰選考委員会

地区連絡会	支部長
金沢東支部	堀江 翔
金沢西支部	苗山 卓弘 (新任)
加賀支部	西村 幸盛 (新任)
能登支部	福井 朱美 (新任)



もりした通所・ 訪問リハビリテーションすたあと

土山 聡美

「すたあと」は能美市内の辰口温泉そばにあります。
平成17年4月、もりした整形外科クリニック開業以来実施してきた訪問リハに、平成24年12月、名称を「すたあと」とし通所リハをプラスしました。
行政・地域各サービスと連携をとりながら、「家族のためではなく、自分自身のために」という理事長の願いを込め、OT2名・PT2名、その他介護・看護スタッフ・柔道整復師、総勢15名で頑張っています。
建物は、ステンドグラスから日差しがさしこむ吹き抜けのオープンスペースに、階段&歩行練習用フロアを配したモダンな造りとなっています。
スリングエクササイズやベンチ付浴室なども大好評です。
スタッフは、自分自身のプランを納得いくまで頑張っていただけのような利用者の皆様の自立力を応援しています。
皆様是非一度お越しください。



会員が語る

公立つるぎ病院 苗山 卓弘

今回、金沢脳神経外科病院の河野ちひろさんよりバトンを受け取りました公立つるぎ病院の苗山卓弘です。私は学校卒業後、愛知県で勤務しており昨年からは公立つるぎ病院で勤務しています。石川県に戻ってきたばかりで不安もありましたが、いろいろなことを相談できる上司や先輩、仲間に出会うことが出来楽しく勤務させてもらっています。

私は現在、一般病床と外来を担当させてもらい、日々たくさんの患者様と接しています。さまざまな疾患を経験し、OTとして何ができるのか自分で模索し、先輩や同僚と検討しながらリハビリを進めています。

私がリハビリを進めるにあたって目標が定まらない時に必ず思い出す言葉を紹介したいと思います。学生時代の恩師から頂いたもので『リハビリをするにあたって自分のおじいちゃん、おばあちゃんだったらリハビリの人に何をしたいか考える。そうすると自ずと答えが見つかるのではないか』という言葉でした。その言葉をかけてもらった時に、学生時代も少し答えが見えてきた感じがしましたし、現在もその言葉を考えながらリハビリを行っています。現在は、病院の中でも後輩がいるので恩師の言葉をかりて後輩のセラピストの手助けの一つになればと考えています。

では次回は金沢医科大学病院の入江啓輔さんにバトンを渡したいと思います。よろしくお願いします。

インフォメーション

**第27回石川県リハビリテーション
風船バレーボール大会のお知らせ**

城北病院 小池 隆行

企画部では現在、第27回石川県リハビリテーション風船バレーボール大会の準備をすすめている。今年の開催概要は次の通りである。

- 日時 : 2013年10月5日 (土)
 場所 : いしかわ総合スポーツセンター
 審判講習会 (予定) : 1) 8/25 (日) 10:00 ~ 11:30 城北クリニック
 2) 8/31 (土) 13:30 ~ 15:00 石川県済生会金沢病院

昨年は、前の年よりも参加施設、チームが増え、初出場の施設もあった。当会が主催する風船バレーボール大会は、障がいの種類や年齢、社会的立場の違いを超えて交流することができる場である。私たち作業療法士は、風船バレーボールという作業を通じて人が元気になることを支援する立場で26年間、毎年欠かさず開催してきた。勝敗のあるスポーツであるからこそ喜びも悔しさもあり、価値ある自分の発見や新たな価値の創造につながっていく。スポーツとして勝利を目指すチーム、参加し楽しむことに意義を見出すチームと、目的はそれぞれにあるが、出場者の方々が心に持って帰るものを必ず生み出すことができる大会である。

今年は例年より早い時期に会場が確保できたので開催案内も近日中に発送する予定である。さらに多くの方々にこのような活動の場を経験していただけるよう、各々の作業療法士が自分の働くフィールドでチームを作り、出場準備をすすめていただきたい。チーム出場が困難な場合は運営スタッフとして参加していただき、皆の協力で大会を成功させていきたい。



共に支えあい、共に歩む。
医療・福祉・保健のスペシャリストを育成します。

救急救命学科 (昼間部 3 年制) 定員 35 名	理学療法学科 (昼間部 3 年制) 定員 35 名	作業療法学科 (昼間部 3 年制) 定員 35 名	介護福祉学科 (昼間部 2 年制) 定員 30 名
----------------------------------------	----------------------------------------	----------------------------------------	----------------------------------------

厚生労働大臣指定養成校・石川県知事認可校
国際医療福祉専門学校七尾校
 HPアドレスを
 クータイに送る

〒926-0816 石川県七尾市藤橋町西部 1 番地
 TEL.0767-54-0177 FAX.0767-54-0215
<http://www.kifs-nanao.ac.jp>
 Mail:info@kifs-nanao.ac.jp

賛助会員名簿 (順不同)

A会員

社会医療法人董仙会

B会員

学校法人センチュリー・カレッジ

社会福祉法人徳充会青山彩光苑

医療法人社団勝木会

学校法人阿弥陀寺教育学園

医療法人社団和宏会

C会員

粟津神経サナトリウム

石川県済生会金沢病院

石川県リハビリテーションセンター

医療法人社団浅ノ川浅ノ川総合病院

医療法人社団浅ノ川金沢脳神経外科病院

医療法人社団浅ノ川桜ヶ丘病院

医療法人社団浅ノ川千木病院

医療法人社団映寿会

医療法人社団さくら会森田病院

医療法人社団慈豊会

医療法人社団丹生会

医療法人社団生学生会んやま健康クリニック

医療法人社団千木会

医療法人社団扇寿会

医療法人社団長久会

医療法人社団同朋会

医療法人社団中田内科病院

医療法人社団福久会

医療法人社団洋和会

医療法人社団輪生会

医療法人積仁会

金沢医科大学病院

金沢社会保険病院

金沢赤十字病院

公立穴水総合病院

公立宇出津総合病院

社会福祉法人篤豊会

社会福祉法人北伸福祉会

社団法人石川勤労者医療協会城北クリニック

城北病院

珠洲市総合病院

芳珠記念病院

医療法人社団博洋会

医療法人社団持木会 柳田温泉病院

医療法人社団浄心会

医療法人社団博友会

宇野酸素株式会社

金沢義肢製作所

株式会社アイテム

株式会社トータルシステム

株式会社トミキライフケア

株式会社半田

株式会社ヤマシタコーポレーション金沢営業所

酒井医療株式会社金沢オフィス

セントラルメディカル株式会社

三星自動車販売株式会社

有限会社リーフレットライフ

丸善株式会社金沢支店

株式会社メディベック

D会員

医療法人社団あいずみクリニック

株式会社ヒロセ板金

編集後記

高校生の進路希望で、医療系の資格をとるために理系を選択する子供が増えてきているとのことです。就職率の高さから看護職を希望することも多いそうですが、いざ受験前に見学に行き現実の仕事のつらさを見て進路変更を希望する子供が多いとのことです。

われわれの作業療法士という仕事は、今の子供達にはどんな風に映っているのでしょうか？

(20年以上前に学校見学後、進路変更した編集人)

社団法人石川県作業療法士会ニュース 年4回発行

編集担当：明福真理子、酒野直樹、山本真一郎、杉浦有子、藤田隆司、寺井利夫、川口朋子、中島孝、西川拓志、西村誠次、米田貢、谷内香織、山本幸栄、堀桃子、西出優子、橋本実、小川正人、買手登美子、塩谷真美、平木咲代子、福井清美、前田勝也、中寺智也、入江啓輔、山崎佳子、宇塚芽生、川口日和、竹内美月、伊関浩克、山田ともみ、田中明、犬丸敏康

発行所：社団法人 石川県作業療法士会

〒926-8605 石川県七尾市富岡町94 恵寿総合病院 作業療法課 0767-54-8387

発行人：進藤浩美 印刷：ヨシダ印刷株式会社